

# 第7章 資料の活用 確認プリントNo1

( )組( )番 名前( )

次の資料は、あるクラスの生徒20人がこの1年間に読んだ本の冊数です。

21	17	4	9	15	13	5	12	16	12
10	25	18	32	19	7	4	53	12	20

(単位は 冊)

(1) 次の①から⑤に当てはまることばや  
数値を答えなさい。

この資料をまとめた右のような表を  
( ① ) という。「0冊以上10冊未満」  
のような資料を整理するための区間を ( ② )  
といい、その幅を ( ③ ) という。今回  
( ③ ) の値は ( ④ ) である。  
( ② ) に入っている資料の個数を  
( ⑤ ) という。また、区間に入っている ( ⑤ ) を ( ⑤ ) の合計で割ったもの、  
すなわち全体に対する割合を表す値を ( ⑥ ) という。

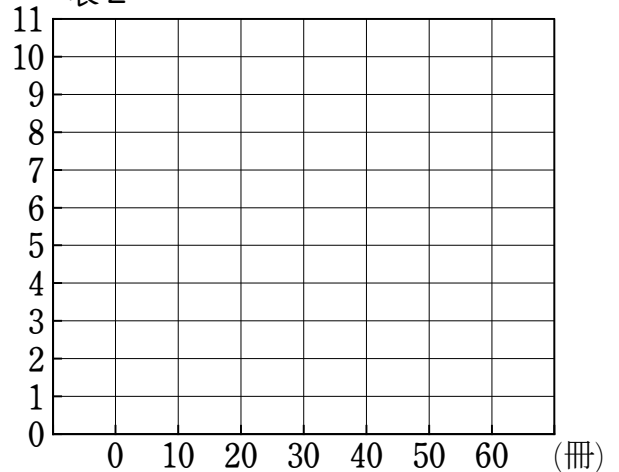
表1

②(冊)	⑤(人)	⑥
0 以上 10 未満	5	
10 ~ 20	10	0.50
20 ~ 30	3	0.15
30 ~ 40	1	
40 ~ 50		0.00
50 ~ 60		0.05
計	20	

(2) 表1を完成させなさい。

(3) 表1をヒストグラムに表しなさい。  
また完成したヒストグラムに度数折れ線  
を書きなさい。

表2



(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
(2)	表1の空欄に記入			(3)	表2に記入	

# 第7章 資料の活用 確認プリントNo2

( )組( )番 名前( )

(1) 次の①から⑧に当てはまることばを答えなさい。

資料の分布の様子を調べる時、資料の最大の値から最小の値を引いた値を ( ① )  
 または ( ② ) という。また、この値以外にも資料の様子を調べる時によく使われる  
 値があり、資料の特徴をその値で代表させて比べることが多い。このような値を  
 ( ③ ) といい。主に3つのものがある。

1つ目 ( ④ ) といい、

個々の資料の値の合計を資料の総数で割った値

2つ目 ( ⑤ ) または ( ⑥ ) といい、

調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値

3つ目 ( ⑦ ) または ( ⑧ ) といい、

資料の中で最も多く出てくる値、度数分布表では、度数のもっとも多い  
 階級の階級値

(2) 下の資料は、ある野球チームの20試合の得点です。

この資料について、(1)の①、④、⑤、⑦の値をそれぞれ求めなさい。

2	5	0	7	4	3	5	5	4	2
4	0	6	5	1	1	5	4	9	2

(単位は点)

(1)	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	
(2)	①		④		⑤		⑦	

## 第7章 資料の活用 確認プリントNo3

( )組( )番 名前( )

(1) 次の①から④に当てはまることばを答えなさい。

ものを計測するとき、目盛の10分の1を目分量で読み取り、四捨五入することで大まかな値をとることが多い。このような、正確な値ではないがそれに近い値を( ① )とい、正確な値を( ② )という。( ① )から( ② )を引いた値を( ③ )という。1の位を四捨五入して求められた120という値は、百の位の1と十の位の2は測定された意味のある数字だが、1の位の0に関しては信頼できない数字である。測定値のうち、信頼できる数字のことを( ④ )という。

(2) 次のときの誤差を求めなさい。

- ① 人口71815人を72000人と表したときの誤差
- ② 所持金2191円を2000円と表したときの誤差

(3) ある数 $a$ ,  $b$ を、小数第2位を四捨五入して近似値で表したところ、次のような値になりました。このとき、 $a$ ,  $b$ の真の値の範囲を、それぞれ不等号を使って表しなさい。

- ①  $a = 2.6$
- ②  $b = 10.0$

(4) 次の近似値の有効数字が[ ]内のけた数であるとき、それぞれの近似値を整数の部分が1けたの数と、10の累乗との積の形で表しなさい。

- ① 地球の赤道の長さ およそ40000 km [2けた]
- ② 光の速さ 秒速およそ300000 km [1けた]

(1)	①		②		③		④	
(2)	①				②			
(3)	①				②			
(4)	①				②			